

図 6 2SC733

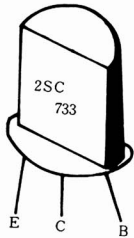
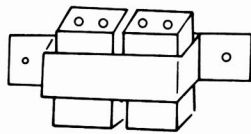


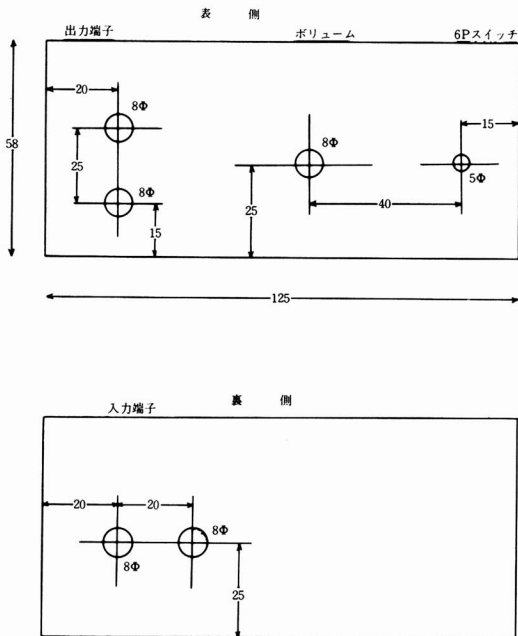
図 7 電池ホルダー



(6) 二つの電池 (006P) は、ケースの内壁に、図 7 のように、ブリキ板か、アルミニウム板を折り曲げたもので固定する。

(7) ケースの加工図を次に示しておく。

図 8 ケース加工図 (ケースはリード・PS-2)



(8) 部品表

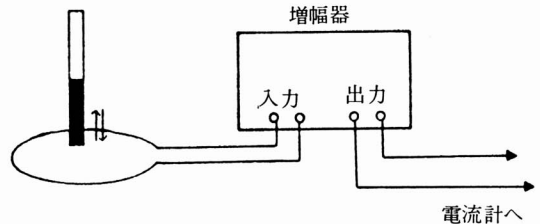
品名	規格	数
ケース	リード・PS-2	1
IC	741	1
抵抗	470KΩ	1
〃	10KΩ	1
〃	1KΩ	1
〃	820Ω	2
可変抵抗	10KΩ・B	1
トランジスタ	2SC733	1

品名	規格	数
電池	006P	2
同スナップ		2
スイッチ	6P (小型)	1
ターミナル	ジョンソン型	赤 2 黒 2
基板	サンハヤトAT-IS	1

4. 使用法

(1) 1 回巻きのコイルで電磁誘導を観る。

図 9 1 回巻きコイルに発生する誘導起電力をみる



- ① 1mmφ程度のホルマル線を円形状に形づくって、入力端子に接続する。
出力端子には、50mA電流計をつなぐ。
- ② 次に、スイッチを入れると、電流計の指針は、どちらかに振れるが、オフセット調整用のボリュームを回して、指針が目盛板の真中あたりを指示するようにする。(電流計を検流計として用いるため。)これで、準備は完了である。
- ③ 次のこと柄を確かめてみる。(教材として)
 - ・ コイルに磁石を近づけたり遠ざけたりする。電流計の指針は、どう振れるか。
 - ・ 磁石の動かし方をはやくする。電流計の指針のふれの大きさはどう変わるか。
 - ・ また、より強い磁石を用いた場合はどうか。
 - ・ 磁石のN極を近づける場合と、S極を近づける場合では、指針の振れの向きは、どう異なるか。

(注) 電流計の代わりに、オシロスコープでみるのもよい。

(2) 図10のように、磁石をバネ振子に吊して単振動させ、交流の発生する様子を観察する。

電流計でもよいが、オシロスコープの方がおも